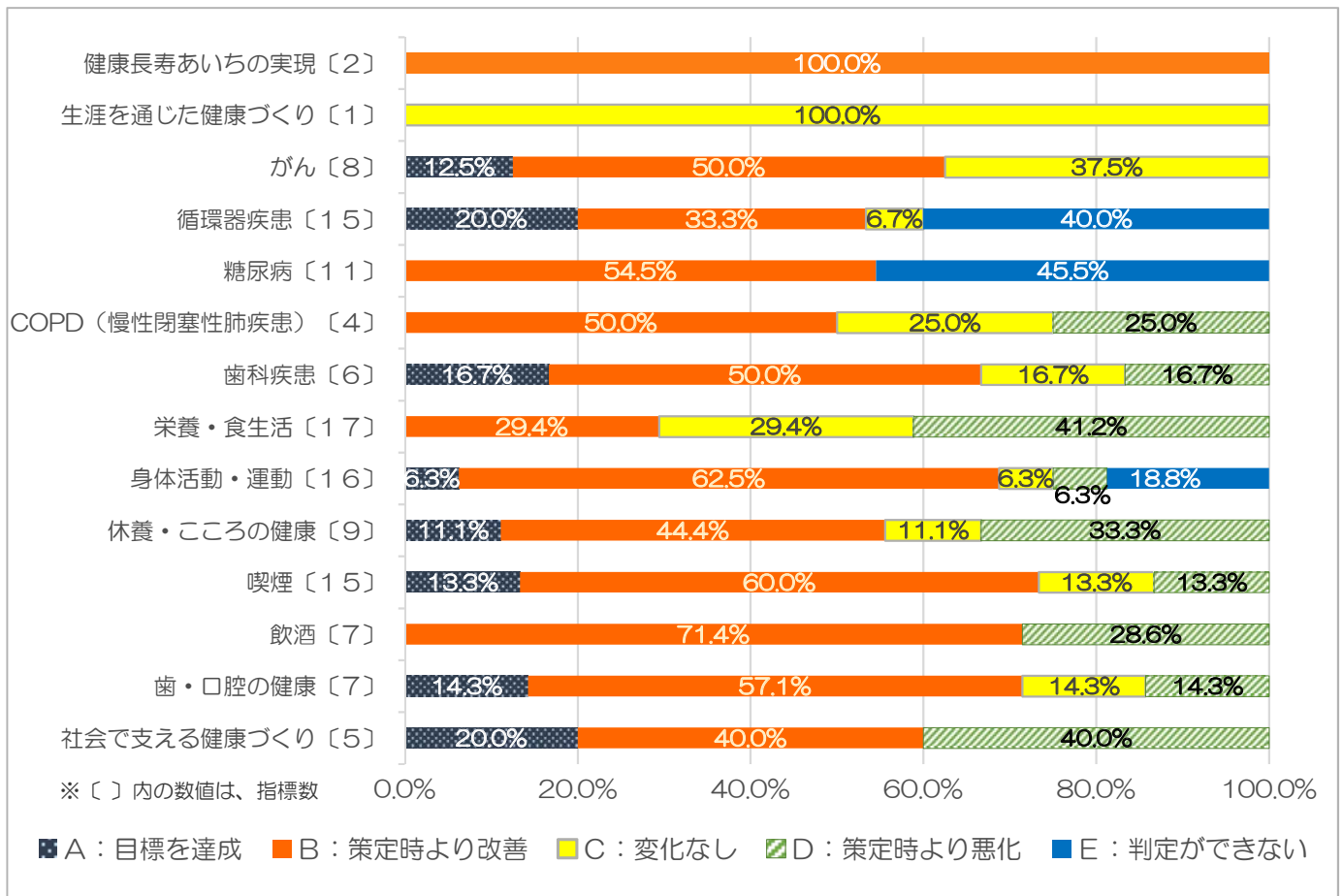


## ○ 各分野の目標達成状況



## ○ 主な指標結果の概要

- 基本目標の健康寿命の延伸について、厚生労働省公表の平成28(2016)年推定値では、男女ともに策定時の平成22(2010)年推定値と比較すると改善していますが、目標には及ばない状況です（男女ともにB判定）。
- がんの75歳未満の年齢調整死亡率は、男性は目標を達成していますが、女性は減少しているものの、男性よりも減少の度合いが小さいです（男性A判定、女性B判定）。
- 循環器疾患の指標 脳血管疾患及び虚血性心疾患の年齢調整死亡率は、男女ともに減少し、直近値において、概ね目標を達成しています（概ねA判定）。
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度は、計画策定時よりも低下し、悪化しています（D判定）。
- 80歳（75歳～84歳）の咀嚼良好者の割合は増加し、目標を達成しています（A判定）。一方、歯周炎を有する者の割合（40歳）は増加し、悪化しています（D判定）。
- 生活習慣の見直しに係る指標について
  - ・成人の肥満者の割合は男女ともに増加しています（D判定）。
  - ・1日当たりの野菜摂取量は、直近値では減少し、策定時から改善していない状況です（D判定）。
  - ・日常生活における歩数は、20歳から64歳において男性は増加していますが、女性は減少し、悪化しています（男性B判定、女性D判定）。
  - ・成人の喫煙率は、減少していますが、女性は男性に比べて減少率が小さく、男女とも目標には及ばない状況です（男性B判定、女性C判定）。
  - ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をする者の割合が男女とも増加し、悪化しています。特に女性では悪化の度合いが著しいです（D判定）。
- 健康格差の把握に努める市町村数は増加していますが、目標には及ばない状況です（B判定）。